1	組織名称(略称)	Decentralized Identity Foundation http://identity.foundation/				
2	分類	活動目的	◎ 仕様策定 ○ 実装・検証	○ 試験・認証 ○ 普及・啓発	オープンソース	該当あり
			- その他()			
	技術MAP	対象技術分野	⑧情報・通信技術(セキュリティ関連)	対象サービス	⑨複数サービスに該当	
		活動エリア	該当なし	活動領域	④MDL領域の活動を実施	
3	目的	DIFは、分散型アイデンティティのためのオープンなエコシステムを確立し、すべての参加者間の相互運用を確保するために必要な基礎要素の開発に焦点を当てたエンジニアリング主導型の組織です。 (DIF is an engineering-driven organization focused on developing the foundational elements necessary to establish an open ecosystem for decentralized identity and ensure interop between all participants)				
4	組織構成	6つのWG(Identifiers and Discovery, Storage & Compute, Authentication, Claims and Credentials, DID Communication, Sidetree Development & Operating Group)が設置されているほか、Secure Data Storageの設置が予告されている。				
5	参加資格費	不明。 http://identity.foundation/ でメール経由での連絡が可能。				
6	主要メンバー(2019年9月現在)(注1)	主要メンバー:マイクロソフト、uPort、Gem、Evernym、Blockstack、Tierion うち日本企業:0社 会員数:96社 うち日系企業数:1社(NEC) (メンバー覧URL: https://identity.foundation/#members)				
7	他団体・組織との関係	リエゾンなど 不明。W3Cの仕様書への参照もあり、何らかのリエゾン関係を結んでいるものと推測される。				
8	TTC活動との関連性(注2)	TTCの専門委員会活動との関係(☑関係あり、☐関係なし)			セキュリティ	
		関係する場合の専門委員会名(右欄より選択) 理由:分散型の認証システムを活動対象としている。				
9	活動状況	(発行ドキュメント・ソフト、会合開催状況など) トップページ下部(https://identity.foundation/#wgs)に各WGページへのリンクがあり、各WGページごとに文書やGithubへのリンクが公開されている。 また、Event(https://identity.foundation/events/)に主催または参加しているイベントの一覧がある。				
10	設立時期	2018年5月22日				
11	本部所在地	不明。 (コンタクト先URL: https://medium.com/decentralized-identity)				
12	関連標準化技術	不明。				
13	権利関係(IPR Policy, Bylawsなど)	不明。				
14	備考(普及状況など)					
15	更新履歴	2018年9月11日	初版作成	担当:三宅(日立製作所)		
		2019年9月3日	更新	担当:三宅(日立製作所)		
		2020-04-03	更新	担当:三宅(日立製作所)		

(注1)日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注2)「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。